

## 商品名 イスツリサ錠5mg 医薬品基本情報

薬効	2499 他に分類されないホルモン剤（抗ホルモン剤を含む）	一般名	オシドロスタットリン酸塩錠
英名	Isturisa	剤型	錠
薬価	13249.00	規格	5mg 1錠
メーカー	レコルダティ・レア・ディジーズ	毒劇区分	(劇)

## イスツリサ錠5mgの効能・効果

クッシング症候群

## イスツリサ錠5mgの使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、副腎皮質機能不全	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 中等度<Child-Pugh分類クラスB>の肝機能障害、重度<Child-Pugh分類クラスC>の肝機能障害	記載場所	用法・用量
	注意レベル	慎重投与
3. 重度<Child-Pugh分類クラスC>の肝機能障害、中等度<Child-Pugh分類クラスB>の肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	慎重投与
4. コルチゾール需要が増加している状態、低カリウム血症、QT延長を起し易い体質、電解質異常、徐脈性不整脈、先天性QT延長症候群、うっ血性心不全、低マグネシウム血症、高血圧	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

## イスツリサ錠5mgの副作用等

1. 副作用、コルチゾール値が基準値を下回った、コルチゾール値が急速に低下	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明
2. 低コルチゾール血症、副腎皮質機能不全、コルチゾール値が基準値を下回った、コルチゾール値が急速に低下	記載場所	重大な副作用
3. 副腎皮質機能不全	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

4. QT間隔が480msecを超えて延長	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
5. 低カリウム血症、食欲減退、浮動性めまい、頭痛、低血圧、悪心、嘔吐、下痢、男性型多毛症、ざ瘡、血中コルチコトロピン増加、血中テストステロン増加、疲労、浮腫、けん怠感	記載場所	その他の副作用
6. 失神、頻脈、腹痛、発疹、トランスアミナーゼ上昇、心電図QT延長	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
7. 副腎皮質機能低下、低コルチゾール血症、副腎皮質機能不全	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. QT延長	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. コルチゾール前駆体血中濃度上昇、アルドステロン前駆体血中濃度上昇、11-デオキシコルチゾール血中濃度上昇、11-デオキシコルチコステロン血中濃度上昇、アンドロゲン血中濃度上昇、低カリウム血症、浮腫、高血圧	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
10. 視野狭窄	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
11. 発情周期異常、交配所要日数延長、交配率低下、受胎率低下、黄体数減少、着床数減少、生存胚数減少	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
12. 急性副腎不全、コルチゾール値が基準値を下回った、コルチゾール値が急速に低下、低コルチゾール血症、低血圧、低ナトリウム血症、高カリウム血症、低血糖、低カリウム血症、胚死亡増加、胎仔死亡増加、胎仔体重減少、生存胎仔数減少、外表奇形、内臓変異、骨格変異増加、胚毒性、胎仔毒性、催奇形性、分娩異常、分娩遅延、副腎機能への影響	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

## イスツリサ錠5mgの相互作用

### 1. 薬剤名等：CYP2D6を阻害する薬剤

**発現事象** オシドロスタットの血漿中濃度が影響を受ける

**理由・原因** オシドロスタットは主にCYP3A4、CYP2B6、CYP2D6による酸化的代謝と、UGT1A4、UGT2B7、UGT2B10によるグルクロン酸抱合により代謝

**投与条件** 複数の代謝酵素を阻害又は誘導する薬剤を併用

**指示** 注意

### 2. 薬剤名等：UGT2B7を阻害する薬剤

発現事象	オシドロスタットの血漿中濃度が影響を受ける	投与条件	複数の代謝酵素を阻害又は誘導する薬剤を併用
理由・原因	オシドロスタットは主にCYP3A4、CYP2B6、CYP2D6による酸化的代謝と、UGT1A4、UGT2B7、UGT2B10によるグルクロン酸抱合により代謝	指示	注意

3. 薬剤名等：UGT2B10を阻害する薬剤

発現事象	オシドロスタットの血漿中濃度が影響を受ける	投与条件	複数の代謝酵素を阻害又は誘導する薬剤を併用
理由・原因	オシドロスタットは主にCYP3A4、CYP2B6、CYP2D6による酸化的代謝と、UGT1A4、UGT2B7、UGT2B10によるグルクロン酸抱合により代謝	指示	注意

4. 薬剤名等：CYP3A4を誘導する薬剤

発現事象	オシドロスタットの血漿中濃度が影響を受ける	投与条件	複数の代謝酵素を阻害又は誘導する薬剤を併用
理由・原因	オシドロスタットは主にCYP3A4、CYP2B6、CYP2D6による酸化的代謝と、UGT1A4、UGT2B7、UGT2B10によるグルクロン酸抱合により代謝	指示	注意

5. 薬剤名等：CYP2B6を誘導する薬剤

発現事象	オシドロスタットの血漿中濃度が影響を受ける	投与条件	複数の代謝酵素を阻害又は誘導する薬剤を併用
理由・原因	オシドロスタットは主にCYP3A4、CYP2B6、CYP2D6による酸化的代謝と、UGT1A4、UGT2B7、UGT2B10によるグルクロン酸抱合により代謝	指示	注意

6. 薬剤名等：CYP2D6を誘導する薬剤

発現事象	オシドロスタットの血漿中濃度が影響を受ける	投与条件	複数の代謝酵素を阻害又は誘導する薬剤を併用
理由・原因	オシドロスタットは主にCYP3A4、CYP2B6、CYP2D6による酸化的代謝と、UGT1A4、UGT2B7、UGT2B10によるグルクロン酸抱合により代謝	指示	注意

7. 薬剤名等：UGT1A4を誘導する薬剤

発現事象	オシドロスタットの血漿中濃度が影響を受ける	投与条件	複数の代謝酵素を阻害又は誘導する薬剤を併用
理由・原因	オシドロスタットは主にCYP3A4、CYP2B6、CYP2D6による酸化的代謝と、UGT1A4、UGT2B7、UGT2B10によるグルクロン酸抱合により代謝	指示	注意

8. 薬剤名等：UGT2B7を誘導する薬剤

発現事象	オシドロスタットの血漿中濃度が影響を受ける	投与条件	複数の代謝酵素を阻害又は誘導する薬剤を併用
理由・原因	オシドロスタットは主にCYP3A4、CYP2B6、CYP2D6による酸化的代謝と、UGT1A4、UGT2B7、UGT2B10によるグルクロン酸抱合により代謝	指示	注意

9. 薬剤名等：UGT2B10を誘導する薬剤

発現事象	オシドロスタットの血漿中濃度が影響を受ける	投与条件	複数の代謝酵素を阻害又は誘導する薬剤を併用
理由・原因	オシドロスタットは主にCYP3A4、CYP2B6、CYP2D6による酸化的代謝と、UGT1A4、UGT2B7、UGT2B10によるグルクロン酸抱合により代謝	指示	注意

10. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	本薬の血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤が本剤の代謝酵素であるCYP3A4、CYP2B6、UGT1A4等を誘導することにより、本剤の代謝が促進	指示	注意

11. 薬剤名等：カルバマゼピン

発現事象	本薬の血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤が本剤の代謝酵素であるCYP3A4、CYP2B6、UGT1A4等を誘導することにより、本剤の代謝が促進	指示	注意

12. 薬剤名等：フェノバルビタール等

発現事象	本薬の血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	これらの薬剤が本剤の代謝酵素であるCYP3A4、CYP2B6、UGT1A4等を誘導することにより、本剤の代謝が促進	指示	注意

13. 薬剤名等：CYP3A4の阻害剤

発現事象	本薬の血中濃度が上昇し作用が増強	投与条件	複数の薬物代謝酵素の阻害剤併用
理由・原因	本剤の代謝酵素であるCYP3A4、CYP2B6、UGT1A4等を阻害することにより、本剤の代謝が阻害	指示	注意

14. 薬剤名等：CYP2B6の阻害剤

発現事象	本薬の血中濃度が上昇し作用が増強	投与条件	複数の薬物代謝酵素の阻害剤併用
理由・原因	本剤の代謝酵素であるCYP3A4、CYP2B6、UGT1A4等を阻害することにより、本剤の代謝が阻害	指示	注意

15. 薬剤名等：UGT1A4の阻害剤等

発現事象	本薬の血中濃度が上昇し作用が増強	投与条件	複数の薬物代謝酵素の阻害剤併用
理由・原因	本剤の代謝酵素であるCYP3A4、CYP2B6、UGT1A4等を阻害することにより、本剤の代謝が阻害	指示	注意

16. 薬剤名等：CYP1A2の基質となる薬剤

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤がこれらの薬剤の代謝酵素（CYP1A2）を阻害	指示	注意

17. 薬剤名等：CYP2C19の基質となる薬剤

発現事象	血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	本剤がこれらの薬剤の代謝酵素（CYP2C19）を阻害	指示	注意

18. 薬剤名等：QT延長を起こすことが知られている薬剤

発現事象	QT延長を起こす又は悪化	投与条件	-
理由・原因	いずれもQT延長の副作用を有する	指示	注意

19. 薬剤名等：抗不整脈剤

発現事象	QT延長を起こす又は悪化	投与条件	-
理由・原因	いずれもQT延長の副作用を有する	指示	注意

20. 薬剤名等：パシレオチドパモ酸塩等

発現事象	QT延長を起こす又は悪化	投与条件	-
理由・原因	いずれもQT延長の副作用を有する	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.